

自殺対策の状況と課題

高宮 本市の自殺者の数は非常に多いと聞くが推移は。

健康福祉課長 毎年12～13名のかたが自殺で亡くなられており、阿蘇市の自殺者は県下でもトップグループに入っています。

高宮 国が自殺対策基本法を施行しているが、阿蘇市の基本法の展開はいかに。

健康福祉課長 自殺総合対策大綱に基づき、重点施策が施行されています。その中で高齢者の心の健康、特に鬱の早期発見、診断、治療までの地域連携体制の構築を目指し事業展開しています。

高宮 阿蘇保健所と阿蘇市でやられていると思うが、市民に広く周知されていない。広く周知し地域の連携を作り上げていかねばならない。次にゲートキーパー養成研修というのは何か。

健康福祉課長 職員、保健福祉担当、消費者担当、税務課担当など、広く市民に接する人達に自殺対策の基礎知識を身につけてもらうための研修会であり、実施しています。
高宮 ゲートキーパー養成研修も、

高宮 正行

より多くの希望者に受けてもらうようにすべきである。各機関との連携支援の中に電話相談があるが、阿蘇市における活動は。また、相談しやすい窓口、気軽に相談できる場をお願いしたいが。

健康福祉課長 保健所を中心にボランティア活動がされています。阿蘇市では保健福祉センターの中に窓口を作り、対面・電話相談など今後研究し、自殺予防に努力していきたいと思っています。



一の宮保健センター

新中央病院の交通アクセスと名称について

園田 新中央病院建設において、建物や駐車場の位置関係は決まっているか。
岩下阿蘇中央病院事務局長 位置関係は決まっておりますが、建設予定地は、阿蘇中学校跡地に決定しております。

園田 現在の阿蘇中学校、碧水小学校周辺は道幅が狭く、スクールゾーンもあり、朝夕の子供達の登下校時は、交通事故が懸念されるが対策は。

事務局長 今後業者が決定次第、その基本計画の中で、子供、住民の安全を第一に考え配慮していきます。

園田 阿蘇中央病院の一日平均の車両の出入は何台くらいか。

事務局長 救急車の台数は年間約600台、外来・お見舞いの方々、病院関係者など含め、一日1000台くらいです。

園田 中核病院として多方面からの受け入れも多くなります。坊中三差路から直接アクセスできる道路も選択肢の一つに加えて頂きたいが。

事務局長 今後、業者の方が決まり次第、スクールゾーンなどと並行して、これについては考えていきたいと思っています。

園田 浩文

園田 新病院の名称を熊大との連携が分かる名称にしてはどうか。例えば「熊大付属阿蘇中央病院」など。

事務局長 熊大病院の意向もありますので、今後の検討課題とします。

市長 今まで、そういう事については決まっております。熊大との連携は、絶対必要不可欠であり、今後もしっかりと、取り組んで行きたいと思っています。



坊中三差路

観光振興の取り組みについて

森元 今後の阿蘇市の観光振興の取り組みについてお尋ねしたい。

市長 自然景観を大事にしながら、温泉・草原・火口等を生かし、阿蘇に住む地域の皆さん方と一緒に取り組んでいき、効果を発揮していきたいと思っています。

森元 外国人観光客の取り組みについてお尋ねしたい。

- ① インターネットの整備と発信
- ② おもてなしの一環、ハンデル、中国、英会話の語学実習について
- ③ サイン関係の充実化

吉良商工観光課長 ①については、多言語化を現在行っております。4月を目処に、中国向けの観光ホームページを立ち上げる予定にしております。

②については、観光協会等とも、連携しながら、学習会を実施していきたいと思っています。

③については、外国人観光客の訪れる所は設置しております。今後も継続的に多言語化したサイン整備は進める考えであります。

森元 経済雇用対策の重要性として「観光資源の発見で、人が賑わう地

森元 秀一

域づくり」伝統芸能や、古い町並みを生かした街づくりや、活力あふれる地域づくりを、阿蘇市の総力を挙げた取り組みをお願いします。

商工観光課長 阿蘇を拠点とし、周りの市町村と連携した滞在型観光の展開を考えていきたいと思っています。

他に、「期日前投票の簡素化について」、「選挙公報の事前配布について」、「ハートフル駐車場利用証制度について」、「子宮頸がん、子どもワクチン定期接種助成について」の質問がありました。



阿蘇駅前ロータリー

六年間の市政運営について (市長自身による評価と今後のビジョン)

市原 阿蘇市誕生から六年、トップリーダーとして市政運営に取り組み、佐藤市長のご自身によるこれまでの評価（自己評価）については。

佐藤市長 合併して六年、この間国の財政状況も厳しくなる中で市のやるべき事業について、その財源をいかに確保し、市民の皆さんの望まれる政策を実行するかが、私に与えられた課題であり、いつも前向きに取り組む、自己評価についても、ただ一生懸命やるのみでありまして、評価は市民の皆さん方が思っております。

市原 今後の市政運営にどのようなビジョンをもっておられるか。

市長 市民の皆さん方が、安心安全に過ごせて、合併してよかったと言える、そういう市をみなさんと一緒に作り上げたいと思います。子育て支援、医療、教育等の問題や、主たる産業である農業と観光等について将来をしっかりと見据えたところでの取り組みを思っております。それと最近、九州全域を巻き込み、この阿蘇の自然の大切さ、草原の大切

市原 正

さ、そこに住む人達の生活をしっかりと支えている素晴らしい自然を守っていくために、草原特区という大きな枠組みの中で取り組みができればと思っております。

他に、「野焼き時の山火事発生対策について」、「お知らせ端末の活用について」の質問がありました。



野焼き後の風景